

平成28年度 宮城県校友会定時総会

平成29年7月8日（土）、午後5時から仙台国際ホテルにおいて、倉治康男校友会本部専務理事（62回）をお迎えし、平成28年度定時総会が開催された。参加者50名のうち女性会員11名という、いつもの宮城県校友会らしい華やかな中で行われた。

小田部岳雄県校友会専務理事（82回）の司会進行のもと、亘理 滋 県校友会副会長（67回）の開会の挨拶、校歌斉唱、次の議長および副議長選出では、議長に亘理 薫 会員（72回）、副議長に前田彰恵会員（91回）が指名され、議事録署名人に大宮雅人会員（82回）、三浦允裕会員（99回）の両名が議長より指名された。

佐藤真奈美県校友会会長（73回）より、これまで2期4年の執行部を振り返ってのお礼と10月開催予定の100周年記念事業等を中心に挨拶があり、倉治専務理事から校友会本部および学内の動向についてご報告と、昨年開催された本学創立110周年記念事業に対しての協力への感謝の言葉が述べられ、さらに校友会の現状と、現在抱える課題についてお話をいただいた。

続いて報告に移り、「校友会定時総会報告」を佐藤真奈美校友会評議員から、「日本歯科大学歯学

会評議員会報告」を高橋健一歯学会評議員（82回）、「宮城県日本歯科大学校友会会務報告」を小田部県校友会専務理事よりそれぞれ報告を受けた後、今年度ご逝去された会員への弔意を示し議長の合図により全員で黙祷を捧げた。

その後議事に入り、第一号議案から第七号議案まで議案として提出され、それぞれ審議された。すべての議案が満場一致で原案通り承認可決され、宮城県校友会会長・監事改選の件については選挙管理委員会の皆川 亨 会員（67回）から説明があり、期日まで立候補者の届出はなく、会場からは現会長の留任を求める意見が出され、議長が出席者に諮ったところ大きな拍手をもって賛同を得られ、佐藤会長の再任が決まった。監事には平井すみ江会員（63回）が再任され、さらに新たに鈴木宏明会員（75回）が推薦され、こちらも満場一致で可決された。

協議では、平成29年10月21日（土）に開催される、「宮城県日本歯科大学校友会100周年記念事業」についてプロジェクトリーダーの佐藤敏明会員（66回）よりこれまでの経緯について報告があり、さらに各担当者から現在の進捗状況などが説明された。鈴木副会長の閉会の挨拶で定時総会も無事終了となり、

写場にて出席者全員で記念撮影を行った後、懇親会へと移った。

亘理昭太郎会員（38回）の乾杯の発声で懇親会が始まり、美味しい料理とお酒に会話も弾み、賑やかに懇親が深められ、またこの日は新入会員が紹介され亘理 瑛（98回）、三浦 絹子（99回）、皆川 諒（101回）の各会員がグラス片手に自己紹介と会場からの質問コーナーがあり、さらに活気にあふれ大いに盛り上がった懇親会となった。倉治専務理事、懇親会最後までご参加いただき、ありがとうございました。

（清水功之・90回記）



平成 28 年度宮城県校友会定時総会 平成 29 年 7 月 8 日 於 仙台国際ホテル